

2026 令和8年 年頭あいさつ あけまして おめでとうございます

与那原町議会議長 当真 聡



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには新しい年の幕開けを心健やかにお迎えることと、心からお喜び申し上げます。日頃より町議会へ深いご理解と議会活動に対する温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

与那原町議会を代表して町民の皆さまに年頭のあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、町民の皆さまの力強いご協力のもと、多くの伝統行事や地域イベントが盛況のうちに執り行われました。特に450年以上の歴史を誇る「与那原大綱曳まつり」は、台風の影響により日程が変更となりましたが、多くの皆さまのご理解とご尽力により、無事に開催することができました。この祭りを通じて、町の誇りと団結力が改めて確かめられました。また、平成7年に与那原町、北海道浜中町の商工会青年部が連携協定を締結して以降、少年少女交流体験事業を中心に長年にわたり親交を深めてまいりましたが、このたび、両町のさらなる友好関係の発展と相互交流を推進するため与那原町と北海道浜中町はフレンド

シップタウン協定も結ばれました。

これからも多くの町民が交流することと、さらに与那原町と浜中町の絆が深まるものと確信をしております。

町議会においては、昨年は議員改選の年でもありましたが、今年も第20期与那原町議会議員一同、身を引き締め誠心誠意頑張っていく所存でございます。

これまで通り議会基本条例に基づき、民主主義を基本とする町民の代表であることを常に自覚し、公正性・透明性・信頼性を重視し、町民に開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指してまいります。

本町の振興の発展を図るため、今後とも議会改革、活性化に努め、町民の信託に十分応えられる議会を作り上げていく所存でございます。

結びに、与那原町にとりまして新しい年が、夢と希望に満ちた素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

与那原町教育長 垣花 英正



町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。日頃より、町教育行政に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本町では新・沖縄21世紀ビジョン基本計画を踏まえ、「地域の子は地域で守り育てる」ことを基本姿勢に、地域との連携・協働関係の強化を図り、地域が参加したより質の高い教育を目指しております。

現在、学校教育分野においては「多様な学び」の享受に向けた環境づくり、「生きる力」を育む学校教育の充実、保幼小中連携による切れ目のない支援の充実を図る体制づくりに取り組んでおります。

生涯学習の分野においては、上の森学園、町体育協会、町文化協会、青年会、老人クラブ等の活動が活発に行われています。

上の森かなちホールでは、町文化祭、兄弟小節大会、しまくとぅば大会など多様な催し物が行われ、多くの町民が集い、芸術、文化に親しんでおり、町コミュニティセンターにおいては、サークル活動や各種公民館講座が行われ、町立図書館も多くの町民に利用されています。

また、昨年も本町児童生徒の素晴らしい活躍がありました。特に高校生の全国的な活躍が目立ちました。夏の全国高校野球選手権大会優勝、国民スポーツ大会における陸上女子三段跳び県勢初の優勝、なぎなた団体3位、全国総合文化祭郷土芸能部門における最優秀賞、さらには、日本プロサッカーリーグの選手（Jリーガー）が誕生しました。

中学生では、与那原中学校なぎなた部が県優勝、全国団体4位、柔道で県大会個人の部、水泳で優勝、吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで8年連続金賞を受賞しています。

小学生では、バドミントンで九州二連覇、なぎなたで県優勝、卓球で全日本選手権出場、さらには、プログラミングや将棋でも県大会で優勝しています。これからも本町児童生徒のさまざまな分野での活躍が期待できます。

本年は昨年導入した「コミュニティースクール」の充実・発展に取り組めます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

与那原町町長 照屋 勉



町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

輝かしい令和8年の幕開けにあたり、町民の皆さまが健やかに新春をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より町政運営への温かいご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年中は、町民の皆さま一人ひとりの熱意と努力により、「持続可能なまちづくり」への挑戦を着実に進めることができました。

この大きな希望を胸に、昨今の物価高騰や社会情勢の不安といった難局を乗り越え、町民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに職員一同邁進してまいります。

本年も、未来を見据え、以下を重要施策として推進してまいります。

すべての世代が安心して暮らせる環境づくりは、町の礎です。

子育て世代の経済的・精神的な負担を軽減するため、多岐にわたる支援策をさらに充実させます。切れ目のないサポート体制を確立します。

超高齢社会に対応するため、高齢者福祉の充実には待ったなしの課題です。地域包括ケアシステムの強化、介護予防活動の推進、そして高齢者が安心して社会とのつながりを

持てる「居場所づくり」を支援し、誰もが生きがいを持って暮らせる共生社会を実現してまいります。

また、東浜地区の発展と連動させ、大型の国際会議や展示会を誘致するMICE施設の実現に県と連携してまいります。これは、町の国際的な知名度向上と、新たな経済波及効果を生み出し、雇用創出に直結する戦略的な取り組みです。

さらに町の活力の源である民間事業所による既存市街地の活性化への支援を図ります。

歴史ある中心市街地の魅力を再発掘し、地域商業の振興と居住環境の向上を両立させることで、「歩いて楽しい」「賑わいのある」与那原の顔を再び創り上げます。行政と民間事業者が知恵を出し合い、町の持つ潜在能力を開花させる好循環を生み出します。

結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で笑顔あふれる一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

与那原町副町長 城間 秀盛



明けましておめでとうございます。

令和8年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまと共に健やかにこの日を迎えることができましたことを、心よりお喜び申し上げます。日頃より町政運営に温かいご理解とご協力を賜り、衷心より厚く感謝申し上げます。

昨年も、食料品を中心とした物価高により、町民の皆さまの生活や事業者の活動は更に厳しさを増しているのではないかと危惧しております。今後も、国や県による物価高騰対策に併せ、町民や事業者の皆様への支援を、国や県と連携し迅速に取り組んでまいります。

さて、近年の社会情勢は、少子高齢化社会の進行、インフラ施設の老朽化や地球温暖化の影響により自然災害やさまざまな災害が激甚化、頻発化するなど、今までにないほど目まぐるしく変化しております。

それに対応するために、都市構造の整備と強靱化、ライフラインの耐震化、多重な交通ネットワークの確保などのハード対策と住民の防災意識の向上や地域社会の連携の強化などのソフト対策を一体的に進めてまいります。

また、町民の皆さまが安心・安全で快適に暮らしていく

ため、教育・文化、子育て・健康福祉、社会基盤、生活・環境保全、産業振興等、さまざまな分野の施策を着実に推進し、まちが元気になり未来へと綱がるまちづくりを皆さまと共に進めてまいります。

少子高齢化が進む中で持続可能な行政運営のためにも、人口の維持・向上は必要です。現在、都市機能の充実や良好な住宅市街地形成など、持続可能なまちづくりを推進するために実施している上与那原地区まちづくり事業は、まちづくり基本計画を策定し、予定区域内の地権者の皆さまと協議を行っております。地権者の皆さまのお考えやご要望をしっかりとお聞きした上で、事業実施主体の設立準備を行い、上与那原地区の魅力の向上、地域経済の活性化を図ってまいります。

結びに本年が、町民の皆さまにとって健やかで実り多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。